

いじめ  
パワハラ



被害者  
加害者

## NPO法人 対話の会

### いじめ・パワハラ予防・克服に向けた 修復的対話の進行役セミナー（応用編）

日時: 2022年2月26日(土)【対話の会の活動を例に、修復的対話を学ぶ】

10:00~17:00 受付9:40

会場: テクノファ川崎研修センター（定員20名）

JR川崎駅徒歩7分/京急川崎駅徒歩3分 ソシオ砂子ビル

受講料: 一般 10,000円(税込)、会員価格 9,000円(税込)  
学生 5,000円(税込) ※対話の会年会費3,000円

・DVD付手引き「対話の会の進め方」テキスト事前学習をお願いします。お持ちでない方は、講座申し込み後お送りします。

修復的司法 (Restorative Justice) をご存知ですか。家庭・学校・職場・地域などで起きる様々な人間関係のトラブルを、進行役の介在のもと、上からの強制ではなく、当事者ひとりひとりの自主性と問題解決能力で予防・克服しようとするものです。

\* 私たちNPO法人対話の会は、2001年に日本で初めて修復的司法の活動を開始し、以来今日まで少年非行における被害者と加害少年の対話を中心に、修復的対話の実践を重ねてきました。

\* 修復的対話は、犯罪被害者と加害者の間だけではなく、いじめなど子ども同士のトラブル、親と子の間のトラブル、教師と生徒の間のトラブル、近所の人同士のトラブルなど、さまざまな紛争の予防と克服に役立ちます。

\* 本講座は、みなさまに、修復的対話の準備と司会を担う進行役の基本やスキルを学んだ方向けの【応用編】の講座です。

\* 講座は、実際の活動例に基づく、グループワーク、ロールプレイを取り入れた参加型で行います。知識を得るだけでなく、参加者が互いに交流し体験し合いながら学ぶこの講座で、修復的対話のサークルキーパー体験や、修復的対話の進行役体験をしていただきます。

\* 新たな自分の気づきや、対話型コミュニケーションのスキルを身につけてみませんか？！

- 対話の会では、2007年から現在も、全国47か所にある少年院の中で唯一、八街少年院で修復的司法に基づき「被害者の気持ちを考えるプログラム」を実施し少年達の再犯防止に効果を上げている。
- 講座終了後、希望者は少年院での活動プログラムへの参加の道が開けます。



主催 NPO法人 対話の会

共催 株式会社テクノファ

## 進行役セミナー【応用編】カリキュラム

日 程	テーマ	講師：リーダー	内 容
<b>◆2月26日(土) 「修復的対話が、関係修復にもたらす対話の会を学ぶ」</b>			
10:00～11:00	修復的対話サークルで お互いを知り合う 修復的対話サークルで 対話型コミュニケーションを身に付ける	NPO法人対話の会 修復的対話の進行役 ファシリテーター 南光智子・桑井祥宏	「動物に例えると私は・・・」で 自己紹介してみましょう！  ・修復的対話のサークルキーパー体験
11:00～12:00	【ロールプレイ】 対話の会の準備について	対話の会進行役 ファシリテーター 東京支部長野田健二 ほかスタッフ	修復的司法の考え方と対話の会の進め方 午後のロープレに向けて ① 進行役と申込者の面談体験 ② 進行役と相手方の面談体験
12:00～13:00	昼 食		
13:00～13:50	事例に学ぶ 犯罪における応報的技法 と修復的司法について ※少年犯罪、いじめ・ハラ メント問題の解決に 向けて	対話の会会員 弁護士 ・鴨下智法 他	いじめ・パワハラはどうして起きるの でしょう？ 法律はいじめやパワハラにどう対処し ようとしているのでしょうか？ どうしたら、 いじめやパワハラを効果的に予防し克服 することができるのでしょうか？
14:00～15:50	【ロールプレイ】 対話の会の実施 第一段階と第二段階の進 行役を体験する	対話の会東京支部長 野田健二、南光智子 桑井祥宏他スタッフ	2007年から行われている対話の会の 修復的対話（RJ）に学ぶ 「テキスト付属のDVDを事前に視聴してく ること」ロールプレイですが、シナリオ通 りではなく、役になりきって、進行役を体験 し、スキルアップすることが目的。
16:00～17:00	修復的対話サークルで “振り返りの場”	全員で	今日の感想や質問、互いの思いを語り合 いましょう！

### 「プログラムで体験していただくロールプレイの例」

#### ★ 少年犯罪の被害者加害者を修復するための修復的対話

- 高校1年の秋に県立高校を中退した17歳の非行少年が、私立高校1年生16歳の少年の学校帰りに金属バットをちらつかせて、路上で恐喝しカツアゲした。

- ・加害少年は、逮捕された当初は反抗的だったが、鑑別所でやや落ち着き、次第に自己の行為について反省の色を見せている。現在は、少年審判で試験観察処分となって家に帰ってきている。
- ・被害者少年は、けがはなかったが精神的ショックが大きく、学校に行けないし、夜外を恐怖で歩けない状態。

※加害者少年から申し込みが対話の会にあった。果たして二人の修復は・・・・・・・・可能か？



# NPO法人 対話の会 とは？

- \* NPO法人対話の会（旧名称・被害者加害者対話の会運営センター）は、2001年から少年事件での被害者と加害少年の対話を取り結ぶ活動をしている、日本で最初の修復的司法実践団体です。
- \* 理事には、法学者・心理学者・弁護士・元家庭裁判所調査官・元家庭裁判所調停委員・保護司・キャリアコンサルタント・産業カウンセラーなどがいますが、実際に対話を取り持つ進行役（facilitator）は、研修を受けた一般市民が行なっています。それは、修復的司法が被害者・加害者・地域の人が力を合わせて、起きてしまった害悪を修復する手続だからです。
- \* 対話の会は、これまでに、窃盗・恐喝・殺人・性犯罪など、90件の対話の申込みを受け、ていねいな準備をモットーに活動してきました。
- \* また、2007年からは、少年院の中で、「被害者の視点を取り入れた教育プログラム」（グループワーク）を実施しており、2013年と2017年には、法務省矯正局から全国のモデルとして認められ、感謝状も受けています。
- \* 2011年から、いじめ問題にも活動の場を広げ、各地でいじめの予防と解決のための修復的対話を学校に広める修復的対話（RJ）サークル研修を実施しています。
- \* 2014年の総会で、活動の対象を少年事件のみならず成人事件・いじめ・家族や地域での対立的な問題に広げることを決め、名称も「**NPO法人対話の会**」に改め現在に至ります。

NPO法人 対話の会 [www.taiwanokai.org/top.html](http://www.taiwanokai.org/top.html) [taiwanokai@white.plala.or.jp](mailto:taiwanokai@white.plala.or.jp)

〒270-2251 千葉県松戸市金ヶ作300

TEL : 047-303-3666

## 受 講 申 込 書

### ★ 申込方法

E-mail の方・・・ [taiwanokai@white.plala.or.jp](mailto:taiwanokai@white.plala.or.jp) 宛に、下記の必要事項等をご送信ください。

修復的対話の進行役養成セミナー参加日【2月26日】の受講を申し込みます。

ふりがな		〒	
お名前		ご住所	
TEL	自宅 携帯	FAX Email	

◆以下は、セミナー準備の参考のためにお聞きするものです。お差支えない範囲で、あてはまるものに○をつけてお答えください。

- ・年齢・・・( )～20歳代 ( )30歳代 ( )40歳代 ( )50歳代 ( )60歳代 ( )70歳代～
- ・お仕事・・・( )福祉関係 ( )司法関係 ( )教育関係 ( )会社員  
( )公務員 ( )無職 ( )その他
- ・受講の目的・・・( )修復的対話の進行役をやってみたい ( )仕事上役立つと思う  
( )日常生活の中で役立たせたい ( )ボランティア活動に役立たせたい  
( )その他

\* 受講料は、申込受付後振込先等をご連絡申し上げます。

\* 会場へのアクセス・地図等は、受講申込後にご案内いたします。

※ なお、コロナ禍の状況において、対面での講座の中止、もしくはZOOM開催に切り替える場合がございますのでご承知おきください。